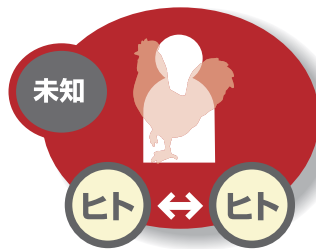


今からできる

新型インフルエンザ対策

照会先 関市保健センター ☎24-0111

新型インフルエンザとは、動物、特に鳥類のインフルエンザウイルスが人に感染し、人の体内で増殖し人から人に感染するよう変化した新しい型のウイルスに感染しておこる病気です。



新型インフルエンザはいつ出現するのか現在予測できていません。しかし、かつて人間が感染したことのないウイルスであり、だれも免疫がないことから、発生すれば爆発的に感染が拡大する世界的流行（パンデミック）を起こすことがおそれられています。

こういった状況を踏まえ、国では平成20年5月に強制隔離が可能な「1類感染症」に準ずるものとし、抗インフルエンザ薬の備蓄などさまざまな対策を行っています。

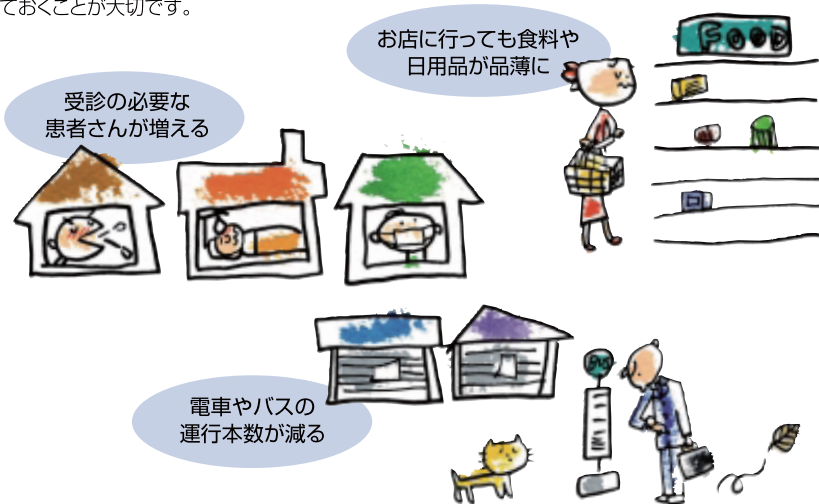
新型インフルエンザの感染を防ぐためには、従来のインフルエンザと同様、感染者の咳やくしゃみ、つばなどのしぶきからの飛沫感染を防ぐこと、または、電車のつり革やドアノブなどに付いたウイルスから感染する接触感染を防ぐことが重要です。

感染時のマスクの着用、外出後のうがいや手洗いを行うとともに、人ごみなどへの外出を控え、十分な睡眠と規則的な生活をして、感染しにくい状態を保つことが大切です。



[社会への影響は?]

バスや電車を動かす人、電気や水道、ガスなどを供給してくれる人、商店の店員やさまざまな会社で働く人などが、新型インフルエンザにかかって仕事ができなくなると、わたしたちの日常生活はまひするおそれがあります。そのため、国、自治体、事業者、家庭や個人などが、それぞれの立場で準備しておくことが大切です。



さらに新型インフルエンザの流行時には、感染の拡大を防ぐために不要な外出を控えることが必要になるため、災害時と同様に外出をしなくてもよだけの最低限（2週間程度）の食糧、日用品として1人当たり20～25枚程度のマスクの準備などが必要とされています。

いずれにせよ、地震などの災害から身を守るのと同様に、新型インフルエンザの被害を最小限にとどめるために、各家庭でも今のうちから予防法や発生時の対応などを話し合い、計画を立てておくのも大切なことといえます。